

内発協が講師を派遣 自家発電設備の研修会

千葉県消防設備協会が主催

11月2日、一般社団法人千葉県消防設備協会の主催で「消防用設備等点検研修会」が千葉県電工会館（千葉市中央区）で開催されました。同研修会には、千葉県内の消防用設備等点検済表示登録会員99名に加え、千葉県下の消防職員29名の合計128名が参加されました。

同日の研修会では、「**自家発電設備の法令**」、「**発電機及び原動機の原理**」などのテーマで、自家発電設備の技術的な基礎知識に関する講義が行われました。さらに、平成30年6月1日付の「**自家発電設備の点検に関する改正**」の内容について講義が行われました。



研修会の冒頭で挨拶する内発協の小林博幸専務理事



自家発電設備の講義を熱心に聴講する参加者

具体的には、内発協が派遣した沼田明技術部長が講師を務め、独自に作成したパワーポイントを用いて、自家発電設備の構造や実際の運用のあり方などについて実務に則して平易な言葉で簡潔に講義を行いました。また、「自家発電設備の点検に関する改正」の中で示された点検要領について解説を行いました。講義の終了後に行われた質疑応答では、講師と参加者たちの間で、熱心な議論が繰り広げられ、盛況なうちに同研修会は閉会となりました。

内発協では、この研修会開催の趣旨に賛同して、防災用自家発電設備に関する総務省消防庁の登録認定機関として、また、自家発電設備の専門技術者を養成する機関として、全面的に協力することとし講師を派遣しました。

今後とも、自家発電設備に関する研修会の開催に際して、他の消防機関等からの講師派遣の協力依頼がある場合は、引き続き、講師派遣について積極的に応じていくこととしています。